

かめだ 亀田いくお県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

だれもが元気になる「すこやか立国・鴨川」



9月県議会一般質問で登壇し、県の姿勢を質す亀田郁夫県議

鴨川市特集 9月県議会一般質問

「すこやか立国・鴨川」をスローガンに、健康と観光を結んだ新しいまちづくりにまい進している鴨川市選出の亀田郁夫(かめだいくお)県議は、9月定例県議会の一般質問で登壇し、指定管理者制度、制度融資、房総スカイラインなどの通行料金問題について、鋭く県の姿勢、方針を質しました。

指定管理者制度については「すべての県民が暮らし満足度日本一を宣言できる千葉を実現するとの千葉県総合計画の基本理念を実現するためには、地方が強くならなければならない」と前置きして、地元「内浦山県民の森」の指定管理者候補に千葉県観光公社が決定したことについて、その疑問点を県当局にぶつけました。さらに、困窮している県内事業者のために千葉県独自の融資制度創設を訴え、南房総の有料道路については通行料金の引き下げ、あるいは無料化を要望しました。亀田議員の質疑を1、2面で特集しました。

内浦山県民の森
指定管理者候補

納得いかぬ選定経過

透明性と公平性確保を

亀田議員 今回、鴨川市観光協会が「内浦山県民の森」の指定管理者に応募した。「内浦山県民の森」は地元鴨川市に存在する施設で、地域を知り尽くした自分たちであればより良い管理運営を行なう自信があり、この施設を地域発展のシンボルとしていこうという機運が高まって、応募となったと聞いている。

しかし、結果は単独で応募した観光公社が指定管理者候補に決定した。議案が否決になった前回の応募で

は、単体では管理不可能との理由から民間企業と共同応募してきた観光公社が、今回は単独で何事もなかったかのように選定されることは納得いかない。これでは指定管理者選定の透明性と契約の公平性を確保できず、県民の代表として強い憤りを感じる。指定管理者制度の趣旨を再度うかがいたい。

総務部長 県では、県の出資比率が100%の団体を始め25%以上の団体を対象に、県依存型の経営から自立型の経営への転換を図ることを基本的な考え方として、公社改革を行なっています。このような自立型の経営に転換しつつある公社などが、民間企業などと同じ立場で競争した上で、指定管理者に選定されることは、制度の趣旨に外れるものではないと考えています。

亀田議員 これらのいきさつを外部の審査委員の方々に対し、どのように説明したのか。

農林水産部長 選定審査会では審査に先立ち、森林課から審査基準やグループ応募に関する審査内容に変更があったことや、申請者の情報などについて、これまでの経過を含めて説明しま

亀田いくお・PROFILE

- | 経歴 | 職歴 |
|----------|-------------|
| 昭和27年 2月 | 鴨川市生まれ |
| 昭和51年 3月 | 立正大学経営学部卒業 |
| 昭和56年10月 | 亀田総合病院理事 |
| 昭和60年 9月 | ケイティエス代表取締役 |
| 平成16年 3月 | 鴨川市議会議員初当選 |
| 平成19年 4月 | 県議会議員初当選 |

- | 現職 | 職歴 |
|-------|-------------|
| 県議会 | 県土整備常任委員会委員 |
| 千葉県 | 環境審議会委員 |
| 自民党県連 | 健康福祉部会 |

県政や鴨川市について、お気軽にご相談ください。

亀田いくお 県議事務所

〒296-0041 鴨川市東町665
TEL.04-7099-0190
FAX.04-7099-0191
http://www.kameda190.com

千葉県独自の融資制度を



再質問で疑問点への説明を求める亀田郁夫県議

房総スカイラインは住民の生活道路

通行料金の見直し迫る

亀田議員 千葉県は九種類の制度融資を設けている。その中にセーフティネット資金があるが、その「運転資金」の融資期間について、国は十年としているが、千葉県は七年以内。千葉県も運転資金の融資期間を十年以内、あるいは、他県に先駆けて十年以上の独自のメニューを加えるべきだと思うが、

再質問で疑問点への説明を求める亀田郁夫県議

亀田議員 信用保証協会に対しての二十一年度損失補てんの予算を十三億六千万円とみているが、上半期が終わった現在、今年度の貸し倒れの状況はどうなのか。

再質問で疑問点への説明を求める亀田郁夫県議

再質問 亀田議員 サンライズ九十九里は行政改革の一環として、平成二十三年度末の現指定管理終了後、譲渡に向けて検討されているが、具体的にとどのような方法が考えられるのか。

再質問 亀田議員 サンライズ九十九里は行政改革の一環として、平成二十三年度末の現指定管理終了後、譲渡に向けて検討されているが、具体的にとどのような方法が考えられるのか。

亀田郁夫県議の主張

県土整備常任委員会から

「内浦山県民の森」の指定管理者候補に決定した千葉県観光公社は、現在、六施設の指定管理を行なっています。

これからの施設管理による収益は、平成二十年度決算で約千三百三十万円であるが、この決算にはサンライズ九十九里における利益約一億二千八百万円が含まれています。

このサンライズ九十九里は、行政改革の一環として、平成二十三年度末の指定管理終了後は、譲渡に向けて検討されています。当施設が譲渡された場合、その時点で観光公社の存続は成り立たなくなると予想されます。このような状況の中、指定管理の期間を五年間と決めることは、観光公社が経営破たんを起こした場

指定管理者決定は厳格に

合、事業継続が困難になった後も県民の森の指定管理者を続けることになり、事業の継続性から判断すると、観光公社に決定されたとの結論は矛盾することになります。

それ以上に、二十三年度末までに行政改革を断固として実施するとの立場から、サンライズ九十九里の譲渡が計画されていることを不確定な要素と決めつけ、審査委員にこの情報を伝えず審査が行なわれたことは、重要事項説明の不備であり、正当な審査が行なわれたと言えないのではないのでしょうか。

このような案件を県民から恣意的に決定したと思われぬように、透明かつ丁寧に決定していかなければなりません。

再質問

再質問 亀田議員 サンライズ九十九里は行政改革の一環として、平成二十三年度末の現指定管理終了後、譲渡に向けて検討されているが、具体的にとどのような方法が考えられるのか。

再質問 亀田議員 サンライズ九十九里は行政改革の一環として、平成二十三年度末の現指定管理終了後、譲渡に向けて検討されているが、具体的にとどのような方法が考えられるのか。

市集 鴨特

9月県議会一般質問

健康と観光結び

新しいまちづくり

電

田

いく

お

県議

要望

(1) 指定管理者制度について、県の出資比率が100%と25%の団体では、県の発言権がまったく違う。出資比率により、指定管理者応募の参加資格を変えてはどうでしょうか。

(2) 県内事業者は本当に困窮している。千葉県独自の融資制度を積極的に打ち出していきたい。

(3) 房総スカイラインの計画費30%増の通行料をひとつの目安にして、一日も早い料金値下げか、無料化への決断をお願いします。